

問4(オ)

——線②に関して、近年の選挙で「一票の格差」が問題になっているのはなぜか。次の表IIと資料Iを使って、**「一票の格差」が問題になっている理由を、80字以内で書きなさい。**解答にあたっては、**表IIをもとに有権者数の差に着目し、「一票の格差」とはどのようなことかを読み取ったうえで、価値という語句を必ず用いて書き、資料Iからは問題になっている内容が、日本国憲法のどの部分にあたるのかを読み取ったうえで、表II中の語句を必ず用いて書きなさい。**なお、文末は句点（。）で終わり、全体の字数に入れること。

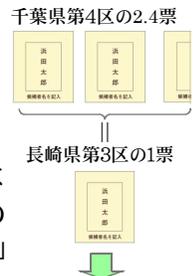
表II 衆議院議員一人あたりの有権者数

選挙区	有権者数
千葉県第4区	497,350
神奈川県第10区	494,755
高知県第3区	205,461
長崎県第3区	210,149

千葉県第4区の有権者数は
長崎県第3区の有権者数の
2.4倍!

2.4倍

長崎県第3区の一票の**価値**は
千葉県第4区の一票の**価値**の
2.4倍!これが「一票の格差」



同じ一票なら同じ**価値**がなければ
「**法の下**の**平等**」の原則に反する!

一票の**価値**の格差が生じる!

有権者数の多い選挙区の一票の**価値**が
有権者数の少ない選挙区の一票の**価値**
より低くなること (一票の格差の問題)

なぜこのような差が生じるか。それは

議員一人あたりの有権者の数に差が生じているのが原因なのです!

「一票の格差」が問題になっている理由

(例) 有権者数の多い選挙区の一票の**価値**が有権者数の少ない選挙区の一票の**価値**より低くなることで、日本国憲法で定められている**法の下**の**平等**の原則に反すると考えられるから。(79字)